

自分の見解

不満

1, 科目情報

科目関連の情報が複数のページに散乱しているため面倒（検索ルートも）

2, 不要なページ

あまり使わない要素（ページ・情報など）より頻繁に使う要素を優先して見える範囲に入れて欲しい

3, 操作

入学時にポータルサイトの操作が全く分からない。

4,

求めている要素

1, 受講科目関連

科目の簡潔な情報を一瞬でわかるような一覧が欲しい

分かりやすい絵が欲しい

最近閲覧した科目ページ一覧が見れるようなのが欲しい

2, 説明

アイコンにある内容や手続きに関する説明、ポータルサイトの操作に関する説明を分かりやすく表示してほしい

3, ページデザイン

ページ構造を変えたりして、簡潔にまとめた内容が視界に入りやすくしてほしい

また、ページデザインを変えるなりして、自分なりに必要・不要な情報の位置を自由に変えられるようなデザインまたは機能が欲しい。

---

自分が考えた欲しい追加要素（科目）

最近よく閲覧されている順にランキングを作る

難易度が載っている（五段階）

受講している総合人数

自身がよく閲覧している順に科目の情報が残るようにする

指定した科目の簡単な情報が分かるようにする（尚そこまでの検索ルートも容易に行えるようにする）

判別しやすいように画像を各科目に入れる

---

WEB サイトデザイン

基本的なルール

#### (1) 利用者視点の重視 4

コンテンツは、誰でも読みやすい平易な表現で記載し、利用者の視点から表示方法の検討を行います。

#### (2) シンプル・デザイン 1

画面や構造をできる限りシンプルにし、利用者に高い視認性を提供します。

#### (3) 統一デザイン 5

統一的なデザインにすることで、複数の府省の Web サイトを閲覧しても迷わないようにします。

#### (4) 独立したコンテンツ

コンテンツはブロック化した独立構造にし、メタデータやタグでコントロールします。

#### (5) タグの活用 2

コンテンツに内容や形態等のタグをつけることで、情報の検索性を向上させます。

#### (6) ディレクトリの共通化 2

ディレクトリの名前を共通化することで、コンテンツを探しやすくします。

#### (7) 様々な機器や画面サイズへの対応 2

様々な機器や画面サイズでも読みやすい形で情報を提供します

### 「Human Interface Guidelines」

(指針)

#### 1. シンプルにする

機能や情報を厳選し、できるだけ要素を少なくする。(基本原則)

#### 2. 簡単にする

利用方法を効率化し、目的達成までの手順と労力をできるだけ減らす。

#### 3. メンタルモデル

ユーザーが想像する利用モデルに合った構成と動きにする。

学習可能なイディオム（慣用表現）によってユーザーに利用モデルを与える。

メタファを用いて概念や機能性を伝える。

#### 4. マッピング

操作するところと結果が反映されるところの対応を把握できるようにする。

位置関係、形、色、記号などによって手掛かりを与える。

#### 5. 一貫性

配色、形状、配置、振る舞い、などに一貫したルールを適用する。

同じ性質のものは同じ表現、違う性質のものは違う表現にする。

#### 6. 直接操作

画面上のオブジェクトに直接触れて操作していないような感覚を与える。

逆の操作をすることで前の状態に戻せるようにする（可逆性）。

ヘッダ：提供主体や目的、Web サイト内共通機能の呼び出し等を示します。

ナビゲーション：サイト構成を示すメニューボタンです。

キービジュアル等：重要な注目情報を表示します。

コンテンツ：提供する情報の本体です。

関連リンク：関連する Web サイトへのリンク一覧です。

SNS 等（ソーシャルメディア）：

SNS 等（Twitter、Facebook、YouTube 等）へのアイコンです。

フッタ：当該 Web サイトの共通情報を示します。